

公益財団法人いばらき文化振興財団

[法人の概要]

平成27年7月1日現在

代表者名	理事長 安藤 博 昭(常勤)	県所管部課	生活環境部生活文化課	
所在地	水戸市千波町後川745	電話番号	029-305-0161	
ホームページURL	http://www.icf4717.or.jp	E-mailアドレス	icf-ga3@icf4717.or.jp	
資本金(基本財産)	30,000	千円	設立年月日	平成4年7月17日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	茨城県	30,000	100.0%
	2			
	3			
	4			
	5			
その他				
設 立 目 的	<p>各種の文化振興事業を行うことにより個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的として平成4年に設立された。</p> <p>平成11年からは、茨城県文化福祉事業団の文化部門を統合し、文化芸術に接する機会の提供、県民文化センターの管理運営及びアクアワールド茨城県大洗水族館の運営を行っている。</p>			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名	平成24年度	平成25年度	平成26年度	内 容		
事業1	大洗水族館事業(公2)	1,296,028	1,317,478	1,524,303	大洗水族館は、基本テーマである「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」に沿って、地域の自然と世界の水生生物の生態環境を通し、生物の多様性や自然環境・地球環境について楽しみながら学ぶという教育と娯楽性を兼ね備えた施設として、「展示」、「普及」、「研究」の3つの機能を相互に連動させた魅力ある海の総合ミュージアム施設として運営する。	
	全体事業に占める割合	54.6%	53.7%	55.5%		
事業2	大洗水族館売店事業(収2)	565,782	605,853	653,261	多くの方が来場する大洗水族館の利用者への利便提供のため、物販・軽食部門の運営を行う。	
	全体事業に占める割合	23.8%	24.7%	23.8%		
事業3	文化振興事業(公1)	415,955	420,128	449,052	個性豊かな県民文化の振興を目的として、文化芸術活動への助成及び文化芸術に接する機会の提供を行うため幅広いジャンルの公演事業を実施する。また、県の文化芸術振興の拠点施設である県民文化センターの運営、施設の維持管理及び使用の承認等の事務を行うとともに、利用者への利便とサービスを図る。	
	全体事業に占める割合	17.5%	17.1%	16.4%		
その他事業	事業1~3以外	95,998	111,596	119,289	県民文化センター利用者の利便施設としてグリル・売店・駐車場の運営を行う。	
	全体事業に占める割合	4.0%	4.5%	4.3%	財団全体の運営について、関係機関と連携を図りながら進行管理を行うとともに、評議員会・理事会を開催するなど法人運営に必要な事業等を実施する。	
全体事業		2,373,763	2,455,055	2,745,905	指定管理者	○
	全体割合	100.0%	100.0%	100.0%		

＜ 公益財団法人いばらき文化振興財団 から県民のみなさまへ ＞

いばらき文化振興財団は、各種の文化振興事業を行うことにより、個性豊かな県民文化の振興を図り、国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的に設立され、平成25年4月1日に公益財団法人へ移行しました。良質な舞台芸術公演を行うほか、文化活動団体等への支援及び県民の文化活動の拠点施設としての「県民文化センター」の管理運営、茨城の海と自然・世界の海と地球環境を基本テーマとした「大洗水族館」の運営を行い、県民の皆様から親しまれる魅力ある施設を目指しております。

文化振興事業では、歌舞伎・オペラ公演等の芸術性の高い公演を始め様々な舞台芸術を提供すると共に、音楽出前講座等の普及事業を行い、本県の芸術文化の振興に努めています。

県民文化センターでは、お陰を持ちまして平成26年度利用者数が大震災前の水準を上回ることが出来ました。また、平成28年度から32年度の指定管理者として指定をいただきました。今まで以上に施設の安全性・利便性の向上、各種情報の積極的な提供等に努めてまいります。

大洗水族館では、平成14年3月の開館以来多くのお客様にご来館いただき、平成27年5月14日に入館者数1,500万人を達成することができました。また、夏期特別展「恐竜のいた時代」では、巨大恐竜ロボットの設置・生きた化石「オウムガイ」の生態や恐竜の化石標本等の展示や、涸沼のラムサール条約湿地への登録を記念した特別展示など展示の充実を図り、海の総合ミュージアムとしての機能を十分発揮できるよう努めています。

今後も、文化振興事業の一層の充実を図るとともに、県民文化センターと大洗水族館がお客様に快くご利用いただけますよう、施設の安全管理と積極的な事業展開に努めてまいります。職員一同、皆様のお越しを心からお待ちしております。

平成28年2月 理事長 安藤博昭

[経営状況] 公益財団法人いばらき文化振興財団 (単位:千円)

区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	増減数	増減理由
正味財産増減計算書	経常収益	2,412,187	2,544,728	2,616,706	71,978	
	基本財産運用益	510	510	510	0	
	事業収益	2,150,459	2,370,380	2,521,800	151,420	利用者増による事業収益の増
	受取補助金等	65,812	52,421	61,447	9,026	事業助成金及び人件費の増
	その他収益	195,406	121,417	32,949	△ 88,468	25年度で東京電力賠償金終了したことに伴う減
	経常費用	2,373,763	2,455,055	2,745,905	290,850	
	事業費	2,364,011	2,445,774	2,734,904	289,130	水族館大規模修繕による増
	管理費	9,752	9,281	11,001	1,720	
	うち役員人件費	14,570	13,257	14,591	1,334	
	うち職員人件費	748,755	711,015	758,715	47,700	県との負担区分変更及び人員増による増
	評価損益等	0	0	0	0	
	経常増減額	38,424	89,673	△ 129,199	△ 218,872	水族館大規模修繕による減
	経常外収益	7,963	8,690	2,715	△ 5,975	助成件数の減(51件→38件)
	経常外費用	128	457	202	△ 255	
経常外増減額	7,835	8,233	2,513	△ 5,720		
法人税・住民税・事業税	142	142	1,879	1,737		
一般正味財産増減額	46,117	97,764	△ 128,565	△ 226,329	水族館大規模修繕による減	
指定正味財産増減額	△ 7,319	△ 8,690	△ 2,715	5,975		
正味財産期末残高	2,485,032	2,574,106	2,442,826	△ 131,280		
貸借対照表	資産合計	3,541,263	3,612,531	3,412,772	△ 199,759	
	流動資産	570,925	448,343	541,118	92,775	定期100,000千円を流動資産へ(退職金)
	固定資産	2,970,338	3,164,188	2,871,654	△ 292,534	取崩しによる減(退職金・修繕)
	負債合計	1,056,231	1,038,424	969,945	△ 68,479	
	流動負債	273,909	227,307	304,376	77,069	退職金未払分137,489千円
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	782,322	811,117	665,569	△ 145,548	退職金の取崩による減
	うち長期借入金	0	0	0	0	
正味財産合計	2,485,032	2,574,106	2,442,826	△ 131,280	退職金の取崩による減	
基本財産充当額	30,000	30,000	30,000	0		
県財政関与状況	補助金	58,652	51,921	58,747	6,826	人事異動に伴う増
	委託料	266,449	229,741	238,928	9,187	受託公演・指定管理料の増
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出捐金等)	2,000	2,000	2,000	0	
	合計	327,101	283,662	299,675	16,013	
	財政的関与の割合(%)	13.5%	11.1%	11.4%	0.3	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
借入金残高(期末)	0	0	0	0		
合計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式等	平成24年度	平成25年度	平成26年度	増減P	備考
公益目的事業比率	認定法第15条に定める率	72.1%	72.3%	72.8%	0.5	
管理費比率	管理費/経常費用	0.4%	0.4%	0.4%	0.0	
人件費比率	人件費/経常費用	32.2%	29.5%	28.2%	△ 1.3	
自己収益比率	自己収益額/経常収益	94.0%	96.0%	95.7%	△ 0.3	
流動比率	流動資産/流動負債	208.4%	197.2%	177.8%	△ 19.5	
借入金比率	借入金残高/負債・正味財産合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	

[組織]

7月1日現在の人数		平成25年		平成26年		平成27年		増減数	増減理由		
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB				
役員	常勤理事・監事	2	0	2	2	0	2	0	0		
	非常勤理事・監事	13	1	0	12	1	0	12	1	0	
	計	15	1	2	14	1	2	14	1	2	
職員	管理職	22	1	0	24	1	0	22	1	0	△ 2
	一般職	49	2	0	49	2	0	47	2	0	△ 2
	嘱託・臨時職員等	93			98			98			0
	計	164	3	0	171	3	0	167	3	0	△ 4
当期	プロパー職員平均勤続年数	18.7年	常勤職員(嘱託・臨時職員を除く)の年齢構成						平均年齢	常勤役員平均報酬(年額)	
			~20代	30代	40代	50代	60代	合計		6,216.5千円	プロパー職員平均給与(年額)
			16	14	17	22	0	69	41.8歳	6,316.3千円	

[評点集計]

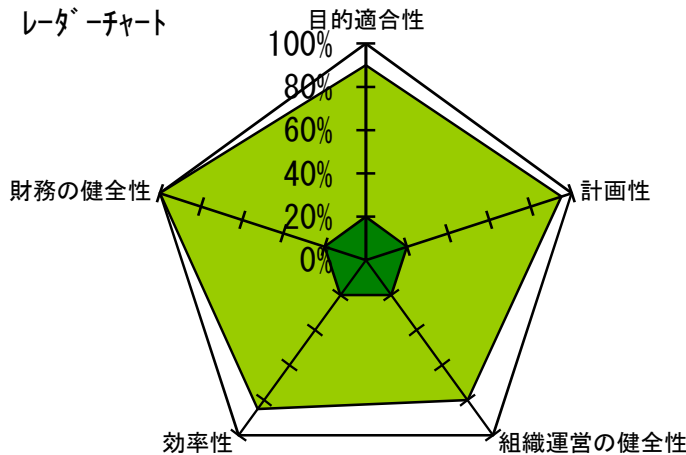
評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	9	18	20	90%
計画性	8	19	20	95%
組織運営健全性	10	16	20	80%
効率性	11	17	20	85%
財務健全性	9	17	17	100%
合計	47	87	97	90%

警戒指標

《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか

経営評価
レーダーチャート



[法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等）]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
個性豊かな県民文化の振興を図り国際性豊かな文化の県づくりに寄与するため文化振興事業、県民文化センター、大洗水族館の運営等を行っている。施設利用者及び事業への参加者の状況から設立当初と同等の社会的要請があると考えられるので、今後も設立目的に沿った事業運営に努める。	平成25年度の公益財団法人への移行に合わせ、中期経営計画（平成25年度～平成29年度）を策定し、事業別に目標を掲げている。 また、財団全体の収支計画を記載し、経営評価項目に沿った計画となっており、これらの目標達成に努める。	階層別基本研修や自己啓発研修、専門研修など、各種研修を積極的に実施し、人材育成、能力開発等に努める。 また、企業等退職者を嘱託職員に登用し、専門分野の経験を活用することで、さらに組織の活性化及び健全性に努める。	県派遣職員人件費の負担が全額財団負担になったこと及び、職員6名退職に伴う職員2名を前倒し採用したことによる人件費の一時的な増となっている。平成27年度は職員4名を減員し、嘱託職員で対応することにより、人件費の抑制に努める。	震災等の影響から回復し、前々期から年々正味財産が増加してきており、県民文化センター及び水族館事業においても前期を上回る入場者を確保するとともに、利用料等が増となっている。引き続き誘客促進活動を行うとともに、経費節減に努め、事業収入の確保と効率的な運営に努める。
<p>当財団の平成27年度予算規模は、3,028,128千円であり、このうち水族館事業は全体の80パーセントを占め、水族館の運営が財団全体の経営を左右することから、いかに水族館の入場者を確保するかが課題である。このため、入場者確保対策として、SNSを積極活用し、新規生物の展示情報や季節ごとのイベント情報などの最新情報を迅速に発信するほか、常磐道の全線開通及び圏央道の延伸に伴い、県内外の高速道路沿線を重点地域として宣伝活動を展開するなど誘客促進に努め、長期的、安定的な経営を目指すものとする。また、県民文化センターの運営及び文化芸術に接する機会を提供する公演事業については、収支均衡を保つ運営に努める。さらに、県民文化センターの指定管理者として、その役割を踏まえより一層のサービス向上に努めるとともに、平成27年度末で指定管理期間が終了することから、次期指定管理者の申請を行う。</p>				

[法人担当課の意見]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
文化芸術団体への助成をはじめ、文化芸術に接する機会の提供、水族館による「展示・普及・研究」の3つの機能の提供など、本県の文化振興に寄与する事業を推進している。	第2期中期経営計画に基づく経営や自主財源の確保、計画的な施設整備等による利用者の利便性の向上を図っている。さらに、公益財団法人としての使命達成やさらなる経営の効率化を目指している。	第2期中期経営計画に基づく専門研修等を積極的に実施しているほか、経営に係るコンプライアンスを確立するため、法令遵守に関する要項及びガイドラインを制定するなど、適正に運営されている。	平成26年度は、県派遣職員人件費が全額財団負担になったことまた、職員の退職に伴う前倒し採用を行った結果人件費の一時的な増となった。引き続き、職員の適正配置等に今後とも努めていくよう指導していく。	大洗水族館の入館者数及び県民文化センターの利用者数は、共に震災前の水準を回復したが、中期経営計画に掲げた目標の達成に向け、引き続き、誘客促進を展開するとともに、経費節減や収入の確保、効率的な運営に努めるよう指導していく。
<p>法人担当課の意見</p> <p>大洗水族館については、魅力あるイベントの開催や多様なメディアを活用した情報発信により入館者数の確保に努めている。また、県民文化センターについても、多くの方への質の高い文化芸術に接する機会の提供やイルミネーションの実施により賑わいの創出などに取り組み、県民文化の振興に努めたことは評価できる。</p> <p>水族館の入館者数及び文化センターの利用者数ともに震災前の水準に回復したが、引き続き、一層の誘客促進やサービスの向上に努め、利用者数の確保に取り組むとともに、効率的な運営を図り健全な運営が維持されるよう指導していく。</p>				

[経営目標]

区分	指標名	単位	H24実績	H25実績	H26 目標値	H26実績	達成度(%)	H27目標値	
経営目標	事業成果	1 県民文化センター施設全体の利用率	%	78.4	83.0	83.0	82.1	98.9%	83.0
		2 水族館の入場者	千人	1,020	1,093	1,050	1,148	100.0%	1,100
	健全性	1 流動比率	%	208.0	197.0	180.0	178.0	98.9%	180.0
		2 自己資本比率	%	70.2	71.3	74.0	72.0	97.3%	74.0
	効率性	1 職員1人当たりの事業収入	千円	11,729	12,867	12,000	12,638	100.0%	12,000
		2 職員1人当たりの当期正味財産増減額	千円	△ 1,012	537	200	△ 768	0.0%	200
平均目標達成度							82.5%		

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
	概ね良好	改善の余地あり	改善措置が必要	大いに改善を要する	
総合的所見等	<p>公益目的事業である文化振興事業及び水族館事業ともに利用者数、入場者数が増加するなど、順調な運営を達成し、財務の健全化が図られている。</p> <p>一般正味財産からの充当により形成された多額の特定資産については、具体的な目的、支出計画等を策定するなど、より適切に取り扱われたい。</p> <p>〔 県所管課は、当該法人が委託管理、指定管理等を受託し、安定的な財務運営が図られていることから、財団運営費補助金の縮減等に取り組まれたい。 〕</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>県民文化センターでは利用者のサービス向上や閑散期における利用料金の割引制度の活用促進など利用者の確保に努め、また、水族館では魅力ある企画展や効果的な誘客促進策の展開などにより入場者の確保に努めるとともに、運営経費の節減に取り組む、引き続き、順調な運営や経営の効率化が図られるよう指導していく。</p> <p>特定資産については、財団が具体的な目的及び運用基準等を明確にしながら運営管理を行っているが、支出計画の策定など必要に応じ適切な対応を講じるよう指導していく。</p> <p>財団運営費補助については、当該法人が公益財団法人として広く県民に質の高い各種公演を低料金で提供しており、県の文化行政の一翼を担う役割を果たしているため補助しているものであり、引き続き、経営の効率化を進めながら補助対象の点検などを行っていく。</p>				